

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月12日実施)	総合評価(3月22日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①単位制の利点をいかし、年次の共通科目を基本とした普通科教育を着実に展開するための教育課程編成の工夫と授業改善に取り組む。</p> <p>②生徒数が減少する中で、学校行事等の充実を図る。</p>	<p>①アクティブラーニングをふまえた授業改善を行う。</p> <p>②通常の授業に加えて個別指導を実施し、進路実現に向けた学力の定着伸長を図る。</p>	<p>①在籍生徒が3年次のみであることを活かして、午後の選択時間帯等に、生徒一人ひとりの習熟レベル、進路希望に対応した補習(個別)指導を行う。</p> <p>②中学校との相互授業参観を継続させるとともに、生徒参加型の授業をさらに進める。</p>	<p>①学校規模の縮小に対応した、少人数教育の利点を最大限に活かすことができたか。</p> <p>②相互授業参観や授業評価において生徒の授業参加の意識が高まったか。(生徒による授業評価のポイント)</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①初期段階であってもすみやかに生徒指導・支援が行えるよう、職員全体による一貫したサポート体制の構築と充実を図る。</p> <p>②生徒数の減少に備え、活気ある学校生活を維持するため部活動加入促進を図る。</p>	<p>①生徒指導については、自分自身で身を正し、社会に通用するルールやマナーを守る生徒を育成する。</p> <p>②生徒支援は、複雑な問題を抱えている生徒が増えているなか、全職員が連携して初期対応ができるような体制を整える。</p> <p>③合同チーム特例などの制度を活かし、部活動への参加を最後まで保障する。</p>	<p>①生活委員会を中心としたマナーアップ運動などにより、生徒が主体となって安心・安全な学校づくりをする。</p> <p>②「SORA コミ」の積極的な周知により、生徒が自らSCを受ける環境づくりや、初期の段階でのSSWとの連携を速やかに実施する。</p> <p>③5限目からの部活動実施を認め、タイムマネジメントの観点から効率的な部活動への取組を推進する。</p> <p>④非活用校における合同チームのあり方について県に提案し、部活動の活性化を推進する。</p>	<p>①頭髪服装検査及び遅刻指導で指導した生徒の生活が改善されたか。</p> <p>②「SORA コミ」、SC、SSW、他機関との連携ができたか。</p> <p>③職員全員が部活動に関わり、生徒の活動を積極的にサポートする体制づくりを進められたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月12日実施)	総合評価(3月22日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①地域に根ざした社会形成者の育成につながるキャリア教育を行う。 ②妥協しない進路実現に向けた進路指導の充実を図る。	①多様な進路希望に応じた一人ひとりのニーズに対応することができる進路指導を行う。 ②学校規模の縮小に対応した効率的な進路指導を行う。	①進路希望別のガイダンスや、さまざまな機会をとらえて面談を行い、個に応じた進路指導に継続的に取り組む。 ②職員数の減少が生徒への対応に影響しないよう、業者や上級学校等と連携した進路指導を行う。	①一人ひとりの進路希望に応じた指導を行い、進路未定のまま卒業する生徒を最低限にとどめることができたか。(平成30年度は7名) ②高校生活や進路決定についての満足度(アンケート調査を実施)					
4	地域等との協働	○家庭及び地域社会との協働による教育活動をさらに充実させ、地域の誇りたる学校の存在を維持する。	①生徒会や部活動生徒を中心に地域の行事等へ参加することで、地域の活性化と生徒の表現力の向上を図り、win-winの関係づくりを進める。 ②地域と協力して学校周辺の環境整備を行う。	①地域の行事に生徒を参加させることにより、地域に対する理解や貢献する意識を高める。 ②地域の方々に完校記念行事、卒業式、完校式等に参加していただき、これまでの本校の教育活動への協力に対して感謝の意を表す。 ③地域貢献活動として、学校周辺の清掃活動を実施する。	①地域の行事に参加し地域に貢献したか。また、文化祭等の表現発表の場で地域に貢献できたか。(生徒・地域への聞き取り) ②本校の存在意義を感じてもらえたか。(地域への聞き取り) ③地域環境整備を通じて地域への貢献ができたか。(地域への聞き取り等による検証)					
5	学校管理 学校運営	○統合を控え、4年間生徒のために何事にも前向きかつ意欲的に取り組む職員集団をつくりあげる。	○効率的・効果的な教育活動を推進するため、情報機器やネットワーク等を適切に管理・整備し利用を促進する。	①職員数の減少に対応し、業務を効率的に行うためのポータルサイトの効果的な活用方法を模索する。 ②再編統合に向けた校内整理の中で、効果的に施設を利用できるように配置の再編等を行う。また物品の管理、処分について手続きの円滑化、工程の可視化を行い、効率的に取り組む。	①ポータルサイトの活用状況や統合的教育用ツールの利活用ができたか。 ②他の機関とも連携した効率的な物品管理、処分ができたか。					